

- 第4回日本緩和医療薬学会年会 市民公開講座
- 日時：2010年9月26日（日曜）
- 場所：鹿児島県医師会館
- 参加者：440人
- 企画報告：医療関係者及び一般市民を対象に第4回日本緩和医療薬学会年会（以下大会）の市民公開講座にて、緩和ケアの普及を目的とした講演会を開催しました。日本緩和医療薬学会は、緩和医療の重要性を鑑み、保険薬局薬剤師、病院薬剤師、薬学研究者の連携強化を図り、緩和医療における薬物療法の推進と充実、さらに大学での教育研究と企業での開発・学術研究の進歩発展を目的とし、2007年より活動しています。第4回日本緩和医療薬学会年会のテーマは「みんなでふくらまそう ところでつなぐ緩和医療～今、知識を深めて実践へ～」としました。9/25・26の両日に大会が開催され、9/26に市民公開講座を行いOBPをアピールいたしました。

緩和ケア  
平成22年度厚生労働省委託事業  
オレンジバルーン・プロジェクト:Orange Balloon Project

第4回日本緩和医療薬学会年会 市民公開講座

# 家で生きることの意味

～地域で支える緩和ケア～

がんになると、さまざまな苦痛（痛み、吐き気、倦怠感、食欲不振、腫部のほりなど）が出現します。しかし、多くの患者さんはその症状を我慢しようとする傾向にあります。また、日本では「緩和ケア（痛みなどの苦痛を緩和するための医療とケア）」の普及が外国に比べて遅れてしまいました。

そこで、今回の市民公開講座では、痛みから解放され、笑顔でがん治療に向き合うための最新の情報を市民の皆様にお届けしたいと考えております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

**司会** 廣津 泰寛 先生 国立病院機構南九州病院 副院長  
中野 一司 先生 ナカノ在宅医療クリニック 院長

**演者** ① 川越 博美 先生 訪問看護バリアン 訪問看護師  
② 川越 厚 先生 医療法人社団バリアンクリニック川越 院長  
在宅ホスピス協会 顧問

**日時** 平成22年 **9月26日 日** 14:00▶16:30

**会場** 鹿児島県医師会館 **参加費無料**  
鹿児島市中央町9-1

**※入場は無料ですが、事前のお申込みが必要です。**

主催 第4回日本緩和医療薬学会年会  
山田 壽士  
共催 日本緩和医療学会

協賛  
鹿児島県、鹿児島県医師会、鹿児島県薬剤師会、鹿児島県病院薬剤師会  
鹿児島県看護協会、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送  
KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、KYT鹿児島県テレビ

市民公開講座のテーマは「家で生きることの意味～地域で支える緩和ケア～」とし、訪問看護バリアン訪問看護師の川越博美先生と、在宅ホスピス協会顧問であり、医療法人社団バリアンクリニック川越院長の川越厚先生をお招きしてご講演いただきました。国立病院機構南九州病院副院長の廣津泰寛先生とナカノ在宅医療クリニック院長の中野一司先生に司会進行をお願いしました。

がん患者さんが家で生きることの意味について市民の方々にもわかりやすいよう実例を交えながらご講演頂き、また、ホスピス緩和ケアの啓蒙を兼ねたビデオの上映も行われま

した。講演後、会場から質問を受け付けましたが、多数のご質問を頂き講師および司会の先生方より丁寧に回答していただきました。多くの参加者の方々から「参加できて良かった」、「大変感動しました」等の声を頂きすばらしい会となりました。





川越博美先生



川越厚先生





廣津泰寛先生      中野一司先生

